

2010/18 /January

Kyoto News Paper

<http://www.kyoto-np.co.jp/article.php?mid=P2010011800066&genre=K1&area=K00>

京の米国人歌手、園児に披露

「家庭や学校であまり歌われなくなった童謡を子どもたちに聴かせたい」と、米国出身の童謡歌手リサ・ガーシュテンさん（47）＝京都市左京区＝が18日、中京区の元明倫幼稚園で地元園児ら150人に歌声を披露した。子ども向けコンサートは初めてといい、今後も学校や幼稚園に出向き、叙情豊かな世界を届けるつもりだ。

日本文化に興味を持ち来日した時に信号機の「とうりゃんせ」の音を聞いて童謡の旋律に惹かれ、以来10年以上歌い続けている。大人向けの場で歌ってきたが、日本の子どもたちは塾やテレビゲームに夢中で童謡が忘れられている現状を気にかけてきた。昨年、米国の大学院で児童心理学を学び、「何でも吸収する6歳までの時期に聴かせたい」との思いを強くした。

帰国後、京都市教育委員会に学校訪問コンサートを申し出て、中京もえぎ幼稚園（中京区）の園児や保護者と地域住民との交流会で歌うことになった。

元明倫幼稚園の遊戯室で、リサさんは普段から愛用するもんぺ姿で、「ふるさと」や「赤とんぼ」などを独唱。園児たちも楽しそうに「ひなまつり」を一緒に歌った。リサさんは「喜んでくれてとてもうれしい。子どもたちに歌って聴かせる機会がこれから増えてほしい」と話した。



子どもたちに童謡を歌うリサさん(18日午前11時20分、京都市中京区・元明倫幼稚園)